

第6章 地域別環境配慮行動計画

6.1 地域別環境配慮行動計画の考え方

1 背景

環境には国境はなく、一地域の環境負荷は地球大に広がっていく一方で、どの地域も地球生態系の一部であるため、地球環境が悪化すればその影響はなんらかの形で地域の環境にも変化を及ぼします。

また、地域の環境が無数につながり、相互に依存、影響しあって地球環境が構成されていることを考えると、地域段階における取組は地球環境問題への対応の基礎となります。

このように、地域の環境と地球環境とは密接な関係があり、「地球規模で考え、地域で行動する」、又は、「地域で考え、地球規模で行動する」という言葉に表されるように、両方を一連の問題としてとらえ、取り組んでいくことが重要となっています。

2 地域特性

地域は様々な特性をもっています。地形的な基盤（海沿い・平野・山地など）や社会的な基盤（工業地域・農村地域など）などがそれぞれ異なり、多様性をもっています。

鹿沼市内でも同様のことがいえます。環境保全活動を展開していく上では、地域によって異なるこうした自然的・社会的基盤と構成主体（住民など）が密接に関係しあって行われることとなります。

したがって、目指すべき地域づくりの方向性や取組の内容、進め方、地域によって多種多様となるはずです。

3 地域内の連携の推進

(1) 地域環境力を高める必要性

環境保全活動を推進する上で、個人より、近隣住民や自治会と協力したほうが活動は効果的です。さらに、行政や学校、企業などとも連携していくことにより、より効果的な環境保全活動が展開できます。

このように地域全体でより良い環境を創造しようと取り組む意識や能力のことを「地域環境力」といいます。この地域環境力を高めることにより、地域全体としての環境保全の取組を効果的に進めることができます。

(2) 地域環境力を高めるためには

ア 社会の高度化・複雑化が進む中、地域内の住民や団体等の専門性も高まり、これを十分に活用していくことが必要となります。

イ 地域における環境に関する情報を持ち、又は環境活動に取り組むものは、その情報や活動内容を積極的に発信し、共有していくことが重要となります。このことにより、地域のネットワークが広がり、地域資源の活用の可能性が広がります。

ウ より良い地域づくりに取り組むという目的を持ち、環境問題以外の様々な社会や経済の問題を踏まえ、様々な意見や目的を融合したより良い方向性を目指す必要があります。

6.2 地域別環境配慮行動計画について

1 策定の経過

平成 16 年、きれいなまちづくり推進員の組織化を契機に地域の環境保全活動の連携が図られ、地域環境ネットワークの構築が進められてきています。

このネットワークのもとに各地域で、主体的に目標設定、進行管理が行われ、地域環境力が高められていきます。

2 計画の進め方

きれいなまちづくり推進員の支部単位に、地域環境ネットワークにおける多様な主体と連携して、毎年、地域別環境配慮行動計画の進行管理を行います。

第 1 節で述べたように、地域の特性に応じた地域内連携の推進によって、「地域環境力」を高めていくことが、「地域別環境配慮行動計画」の考え方です。

さらに、計画の策定に当たっては、自治会や地域の環境美化団体等に呼びかけてきました。したがって、それぞれの地域の行動目標は、その地域に共有された目標であることになり、単一の主体が実施し、進行管理するものではありません。

地域における多様な主体が、その地域の行動目標を共有し、連携して進行管理を行っていきます。

3 個別計画

計画書の構成は、全 17 地区ごとに構成されています。

まず、概況として面積・人口等、次に、環境特性として基礎調査におけるデータを基に自然環境、生活環境及び環境活動団体等を載せています。

次に、アンケートを基に市全体と各地域の関心度の比較が視的に分かるように図で表示しており、アンケート結果や地域の実状等を踏まえ、重点環境課題を洗い出し、それを基に行動指針を掲げ、進行管理ができるように現状値と 5 年後、10 年後の目標値を記載しています。

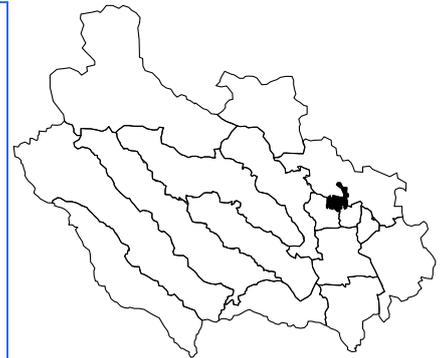
中央地区

1 中央地区の概況

面積 514ha [面積比 1.0%]
人口 6,720人[人口比 6.8%]
(平成28年9月1日現在推計人口)

土地利用 すべて都市計画区域
市街化区域 [203ha]
市街化調整区域 [311ha]

市街地の西部を構成し、小藪川が地域を潤している。
東武日光線新鹿沼駅、国道121号や主要地方道鹿沼・日光線が交通の根幹をなしている。



2 中央地区の環境特性

(1) 基礎調査における環境特性

総合的状況(環境的要因での概況)

生活環境からは、小河川の水質や交通に起因する大気汚染、騒音等の問題が伺える。

里地自然環境から平地自然環境に属し、人工改変度は多い地域であり、小規模化または分断化された自然がわずかに残っている。

自然環境

植物・・・イワヒバ、キジノオシダ、ヒメスミレ、ユカワザサなどが確認されている。

動物・・・西鹿沼町、日吉町から花岡町の富士山公園にかけては緑豊かであり、希少昆虫の発見などもあり、多様である。

生活環境

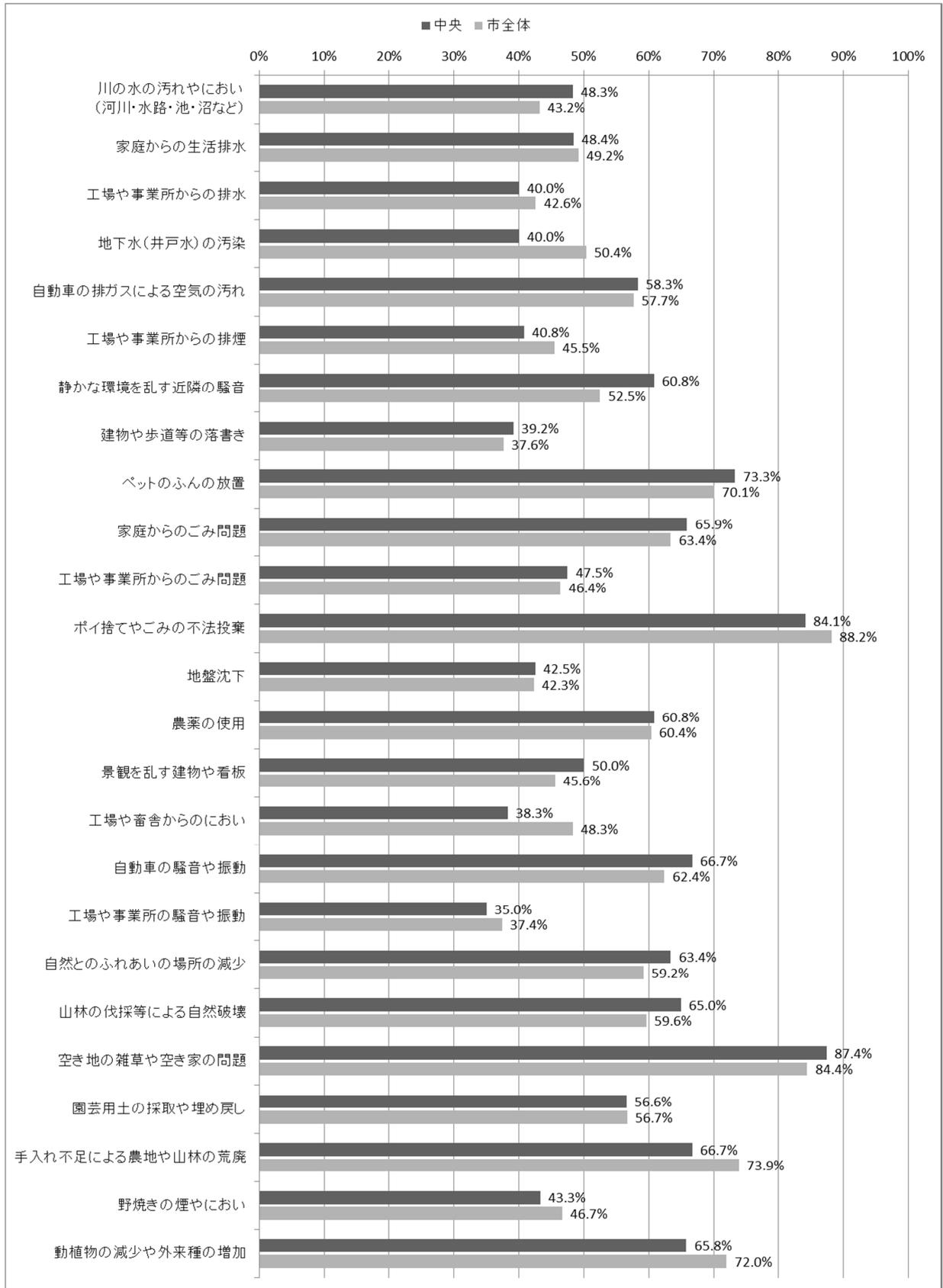
河川の水質等・・・地域の河川は小藪川で、大腸菌群数を除く環境基準は、概ね達成されている。

水生生物調査による水質評価は、「きれいな水」である。

(2) 環境活動の状況(平成28年3月31日現在)

きれいなまちづくり推進員数	23人
きれいなえっと団体	なし
資源ごみ回収団体数	16団体

3 環境課題に関する関心度



4 中央地区の重点環境課題

不法投棄・ポイ捨ての防止
 空き地・空き家の適正管理
 ごみ処理・リサイクルの推進
 小藪川などの河川清掃
 きれいなまちづくりへの参加

5 中央地区地域別行動指針と進行管理

取り組み内容（行動指針）	H27年度 現状値	H33年度 目標値	H38年度 目標値
不法投棄・ポイ捨ての防止 ・地域の巡回、不法投棄物の早期撤去	実施	実施	実施
空き地・空き家の適正管理 ・土地所有者、利用者との協力による空き地、 空き家の見回り（市への連絡）	実施	実施	実施
ごみ処理・リサイクルの推進 ・定期的なごみステーションの監視 （分別指導・持込み監視） ・資源の有効活用（集団回収の促進）	実施 16 団体	実施 16 団体	実施 16 団体
小藪川などの河川清掃 ・小藪川や水路の清掃、周辺環境の整備	年 1 回	年 1 回	年 1 回
きれいなまちづくりへの参加 ・きれいなまちづくりの地域での啓発 ・道路や各自治会の拠点施設等の清掃の実施 ・花いっぱい運動の推進	実施 実施 実施	実施 実施 実施	実施 実施 実施

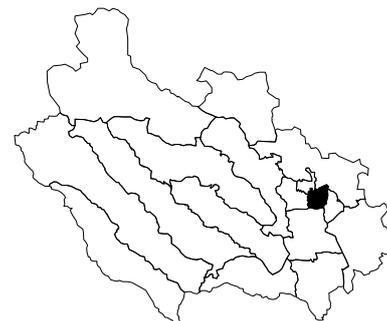
フラワーロード（鳥居跡町婦人部）



東部地区

1 東部地区の概況

面積 262ha [面積比 0.5%]
人口 10,373 人[人口比 10.6%]
(平成 28 年 9 月 1 日現在推計人口)
土地利用 すべて都市計画区域
市街化区域 [262ha]
市街地の東部を構成し、黒川、西武子川が地域を潤している。
J R 鹿沼駅、国道 1 2 1 号、国道 2 9 3 号や
主要地方道宇都宮・鹿沼線が交通の根幹をなしている。



2 東部地区の環境特性

(1) 基礎調査における環境特性

総合的状況 (環境的要因での概況)

生活環境からは、小河川の水質や交通に起因する大気汚染、騒音等の問題が伺える。

里地自然環境から平地自然環境に属し、人工改変度は多い地域であり、小規模化または分断化されている自然がわずかに残っている。

自然環境

植物・・・ハイコヌカグサなどが確認されている。

動物・・・市街地であるが、黒川が流れているため、その両岸を中心に昆虫や小型爬虫類、哺乳類が多様である。

生活環境

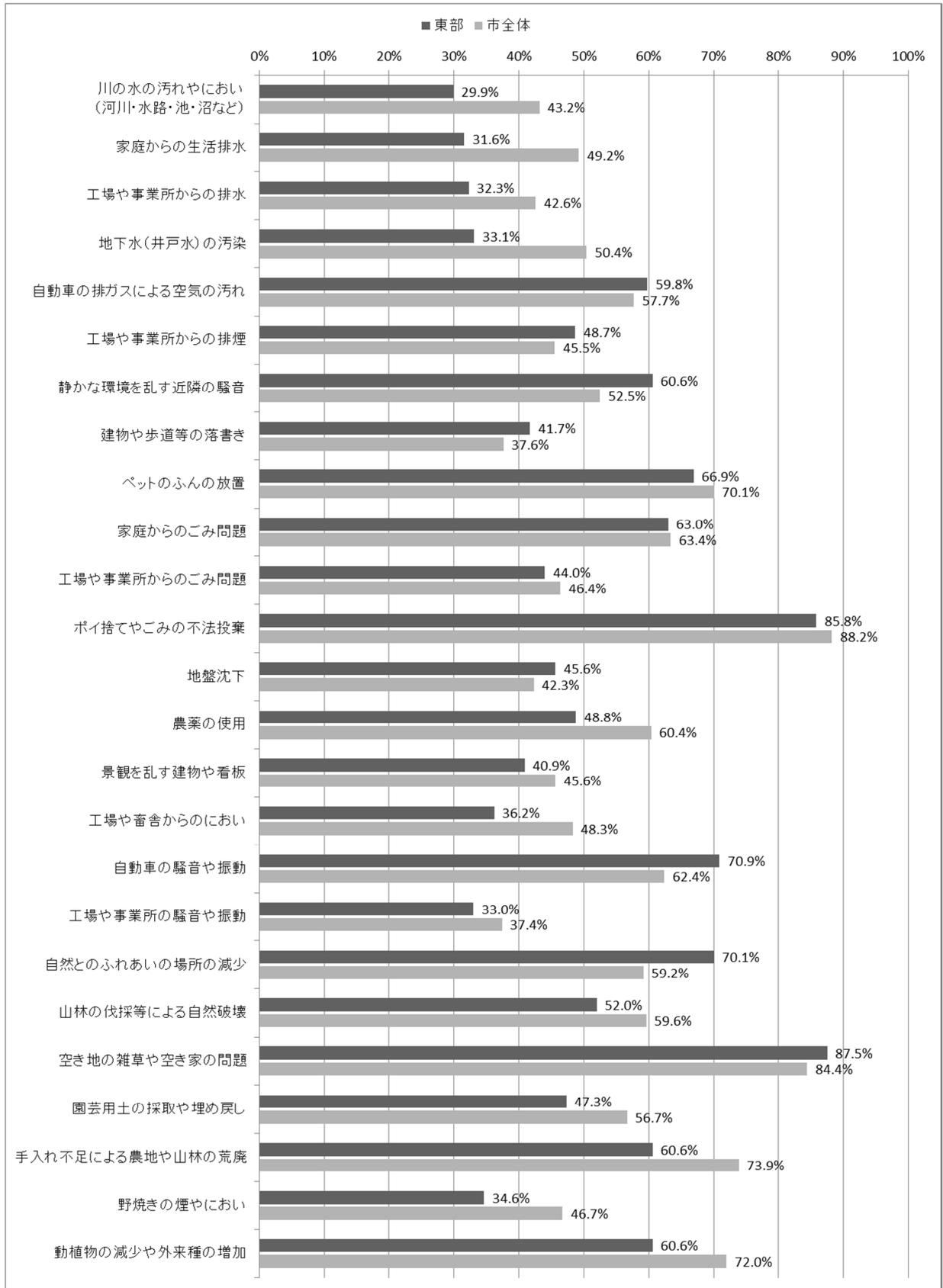
河川の水質等・・・地域の河川は黒川で大腸菌群数を除く環境基準は、概ね達成している。

水生生物調査による水質評価は、黒川で「きれいな水」である。

(2) 環境活動の状況 (平成 28 年 3 月 31 日現在)

きれいなまちづくり推進員数	28 人
きれいなえっと団体	1 団体
資源ごみ回収団体数	16 団体

3 環境課題に関する関心度



4 東部地区の重点環境課題

不法投棄・ポイ捨ての防止
 適切な土地利用
 ごみ処理・リサイクルの推進
 西武子川の水質汚濁の防止
 きれいなまちづくりへの参加
 騒音・振動および大気汚染の防止
 野生動植物の保護

5 東部地区地域別行動指針と進行管理

取り組み内容（行動指針）	H27 年度 現状値	H33 年度 目標値	H38 年度 目標値
不法投棄・ポイ捨ての防止 ・きれいなねっと等の団体育成	1 団体	2 団体	2 団体
適切な土地利用 ・空き家や空き地の管理要請	実施	実施	実施
ごみ処理、リサイクルの推進 ・集団回収活動の促進	16 団体	16 団体	16 団体
西武子川の水質汚濁の防止 ・河川の清掃活動	年 2 回	年 2 回	年 2 回
きれいなまちづくりへの参加 ・ごみステーションの巡回 ・地域の清掃活動の実施 ・花いっぱい運動の推進	実施 年 2 回 実施	実施 年 2 回 実施	実施 年 2 回 実施
騒音、振動および大気汚染の防止 ・アイドリングストップの実施・啓発	—	実施	実施
野生動植物の保護 ・自然保護・生育環境保全の周知	未実施	実施	実施

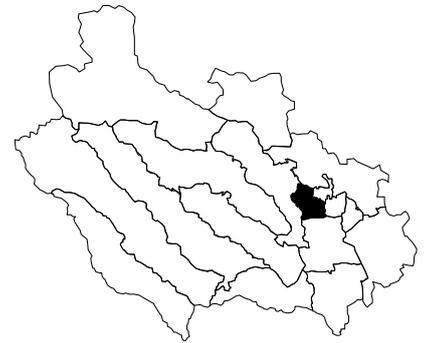
フラワーロード（JR 鹿沼駅）



北部地区

1 北部地区の概況

面積	189ha [面積比 0.4%]
人口	6,408 人 [人口比 6.5%] (平成 28 年 9 月 1 日現在推計人口)
土地利用	すべて都市計画区域
	市街化区域 [168ha]
	市街化調整区域 [21ha]
市街地の北部を構成し、黒川と木島堀が地域を潤している。	
東武日光線北鹿沼駅、国道 121 号や県道板荷・玉田線が交通の根幹をなしている。	



2 北部地区の環境特性

(1) 基礎調査における環境特性

総合的状況（環境的要因での概況）

生活環境からは、小河川の水質や交通に起因する大気汚染、騒音等の問題が伺える。

里地自然環境から平地自然環境に属し、人工改変度は多い地域であり、小規模化または分断化されている自然がわずかに残っている。

自然環境

植物・・・サクラタデ、シロバナツユクサなどが確認されている。

動物・・・千手山公園など緑が残されているので、昆虫類は多様である。

イタチや外来種のハクビシンなどの記録がある。

生活環境

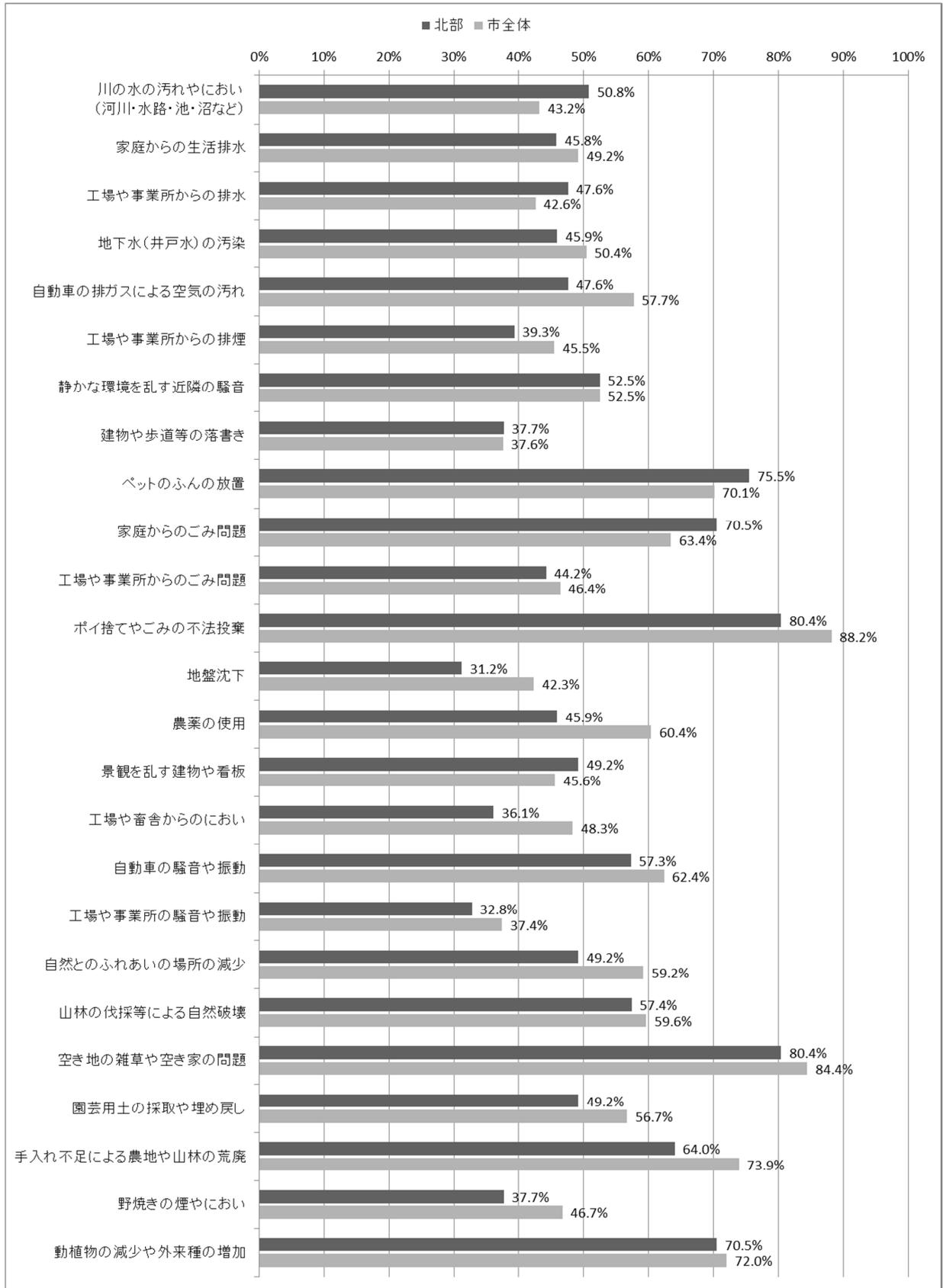
河川の水質等・・・地域の河川は黒川で大腸菌群数を除く環境基準は、概ね達成している。

水生生物による水質評価は、「きれいな水」である。

(2) 環境活動の状況（平成 28 年 3 月 31 日現在）

きれいなまちづくり推進員数	18 人
きれいなと団体	3 団体
資源ごみ回収団体数	18 団体

3 環境課題に関する関心度



4 北部地区の重点環境課題

不法投棄・ポイ捨ての防止
 空き地・空き家の適正管理
 ごみ処理・リサイクルの推進
 きれいなまちづくりへの参加

5 北部地区地域別行動指針と進行管理

取り組み内容（行動指針）	H27 年度 現状値	H33 年度 目標値	H38 年度 目標値
不法投棄・ポイ捨ての防止 ・地域の啓発活動の推進 ・ペットのふん対策（対策看板設置等）	実施 実施	実施 実施	実施 実施
空き地・空き家の適正管理 ・土地所有者、利用者との協力による空き地・ 空き家の見回り（草刈り・除草の行政連絡）	実施	実施	実施
ごみ処理・リサイクルの推進 ・ごみ分別の徹底 ・放置自転車対策 ・資源の有効活用（集団回収の促進）	実施 実施 18 団体	実施 実施 18 団体	実施 実施 18 団体
きれいなまちづくりへの参加 ・きれいなまちづくりの地域での啓発 ・地域の清掃活動の実施 ・花いっぱい運動の推進	未実施 年 3 回 実施	実施 年 3 回 実施	実施 年 3 回 実施



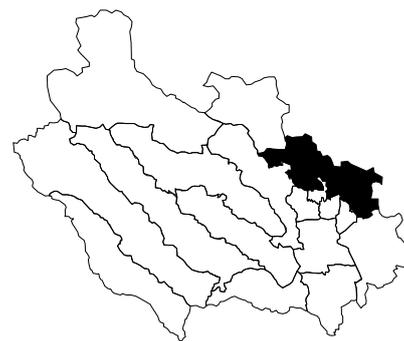
木島堀

菊沢地区

1 菊沢地区の概況

面積	2,924ha [面積比 6.0%]
人口	13,909 人 [人口比 14.2%] (平成 28 年 9 月 1 日現在推計人口)
土地利用	すべて都市計画区域
	市街化区域 [235ha]
	市街化調整区域 [2,689ha]

市の北東部に位置し、日光市、宇都宮市に接する。
黒川、行川、武子川が地域を潤し、国道 1 2 1 号、
国道 2 9 3 号や県道板荷・玉田線、県道鹿沼環状線が
交通の根幹をなしている。



2 菊沢地区の環境特性

(1) 基礎調査における環境特性

総合的状況（環境的要因での概況）

自然環境・生活環境とも現況は概ね良好である。

里地自然環境から平地自然環境に属し、人工改変度は多い地域であるが、人工改変度が比較的少ない

小規模化または分断化された自然を含んでいる。

自然環境

植物・・・サクラバハシノキ、キジノオシダなどが確認されている。

動物・・・緑地や自然度の高い河川が残されているため、昆虫の多様性は高い、イタチなどの中型哺乳類や両生類、爬虫類も多様にみられる。

生活環境

河川の水質等・・・地域の河川は黒川、行川、武子川で大腸菌群数を除く環境基準は、概ね達成されている。

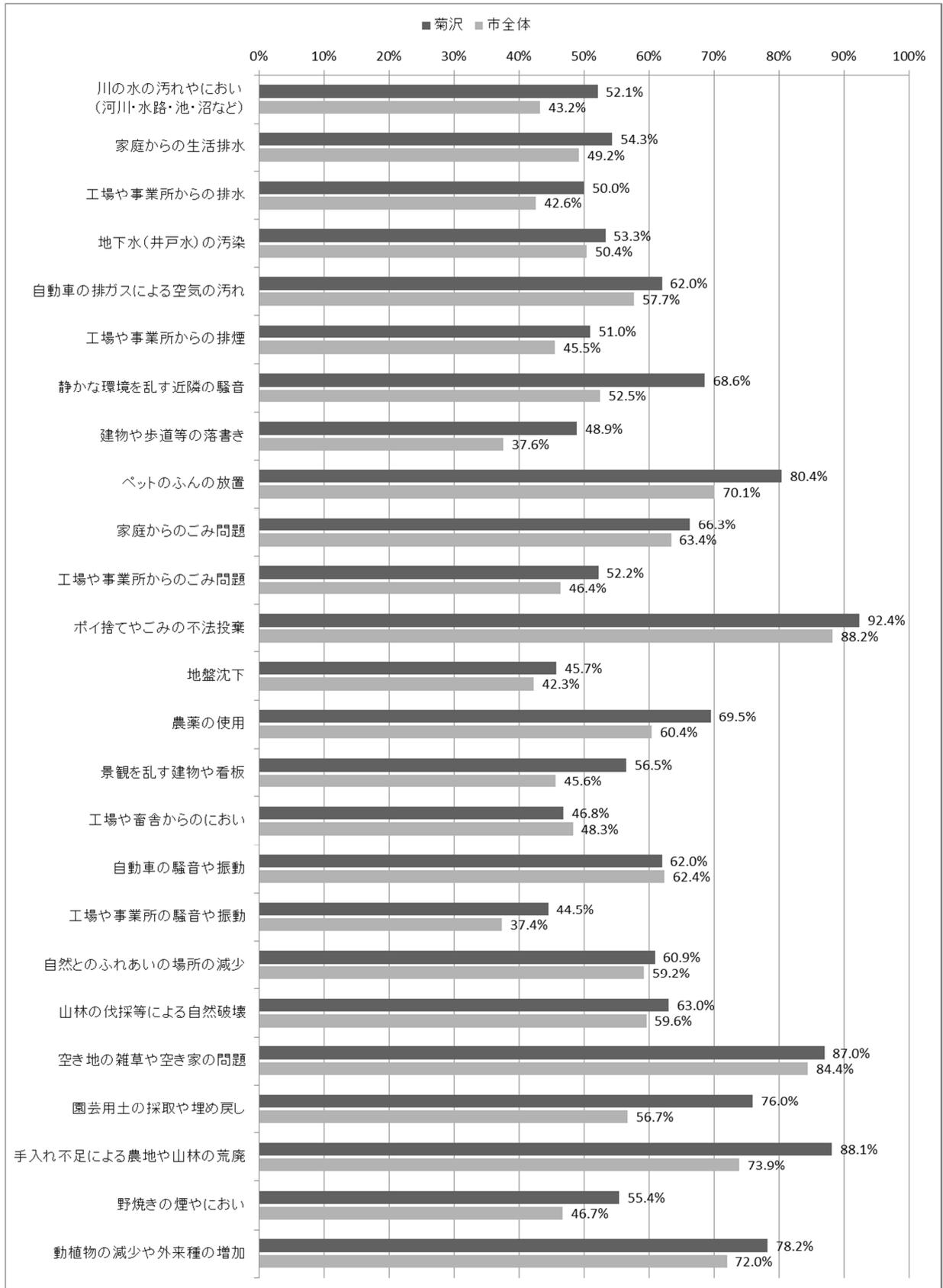
水生生物調査による水質評価は、「きれいな水」である。

県指定天然記念物・・・喜久沢のツクバネガシ

(2) 環境活動の状況（平成 28 年 3 月 31 日現在）

きれいなまちづくり推進員数	30 人
きれいなえっと団体	6 団体
資源ごみ回収団体数	12 団体

3 環境課題に関する関心度



4 菊沢地区の重点環境課題

不法投棄・ポイ捨ての防止
 空き地・空き家の適正管理
 黒川・武子川の水質汚濁の防止
 ごみ処理・リサイクルの推進
 きれいなまちづくりへの参加
 適切な土地利用

5 菊沢地区地域別行動指針と進行管理

取り組み内容（行動指針）	H27 年度 現状値	H33 年度 目標値	H38 年度 目標値
不法投棄・ポイ捨ての防止 ・クリーン鹿沼の実施	年 1 回	年 1 回	年 1 回
空き地・空き家の適正管理 ・土地所有者、利用者との協力による空き地・ 空き家の見回り（草刈り・除草の行政連絡）	実施	実施	実施
黒川・武子川の水質汚濁の防止 ・河川の清掃活動	年 2 回	年 2 回	年 2 回
ごみ処理・リサイクルの推進 ・ごみ分別の徹底 ・放置自転車対策 ・資源の有効活用（集団回収の促進）	実施 実施 年 12 回	実施 実施 年 12 回	実施 実施 年 12 回
きれいなまちづくりへの参加 ・きれいなまちづくりの地域での啓発 ・道路や各自治会の拠点施設等の清掃の実施 ・花いっぱい運動の推進	実施 年 2 回 未実施	実施 年 2 回 実施	実施 年 2 回 実施
適切な土地利用 ・耕作放棄地の活用 （どろん子ふれあい農園事業の支援）	未実施	実施	実施

武子自然を守る会
農地周りの景観形成



東大芦地区

1 東大芦地区の概況

面積	2,659ha [面積比 5.4%]
人口	3,156 人 [人口比 3.2%] (平成 28 年 9 月 1 日現在推計人口)
土地利用	一部都市計画区域
	市街化区域 [5ha]
	市街化調整区域 [947ha]

市の中央部に位置し、大芦川が地域を潤し、主要地方道鹿沼・日光線や県道石裂・上日向線が交通の根幹をなしている。



2 東大芦地区の環境特性

(1) 基礎調査における環境特性

総合的状況（環境的要因での概況）

自然環境・生活環境とも現状は概ね良好。山地自然環境から里地自然環境に属し、人工改変度は比較的少ない自然に恵まれた地域である。

自然環境

植物・・・ザゼンソウ、クロヒナスゲなどが確認されている。

動物・・・大芦川を中心に昆虫の多様性が高く、絶滅危惧種も多い。

ツキノワグマ、ニホンジカ、イノシシなど大型哺乳類が確認されている。

その他、小型・中型の野生動物が生息していると考えられる。

生活環境

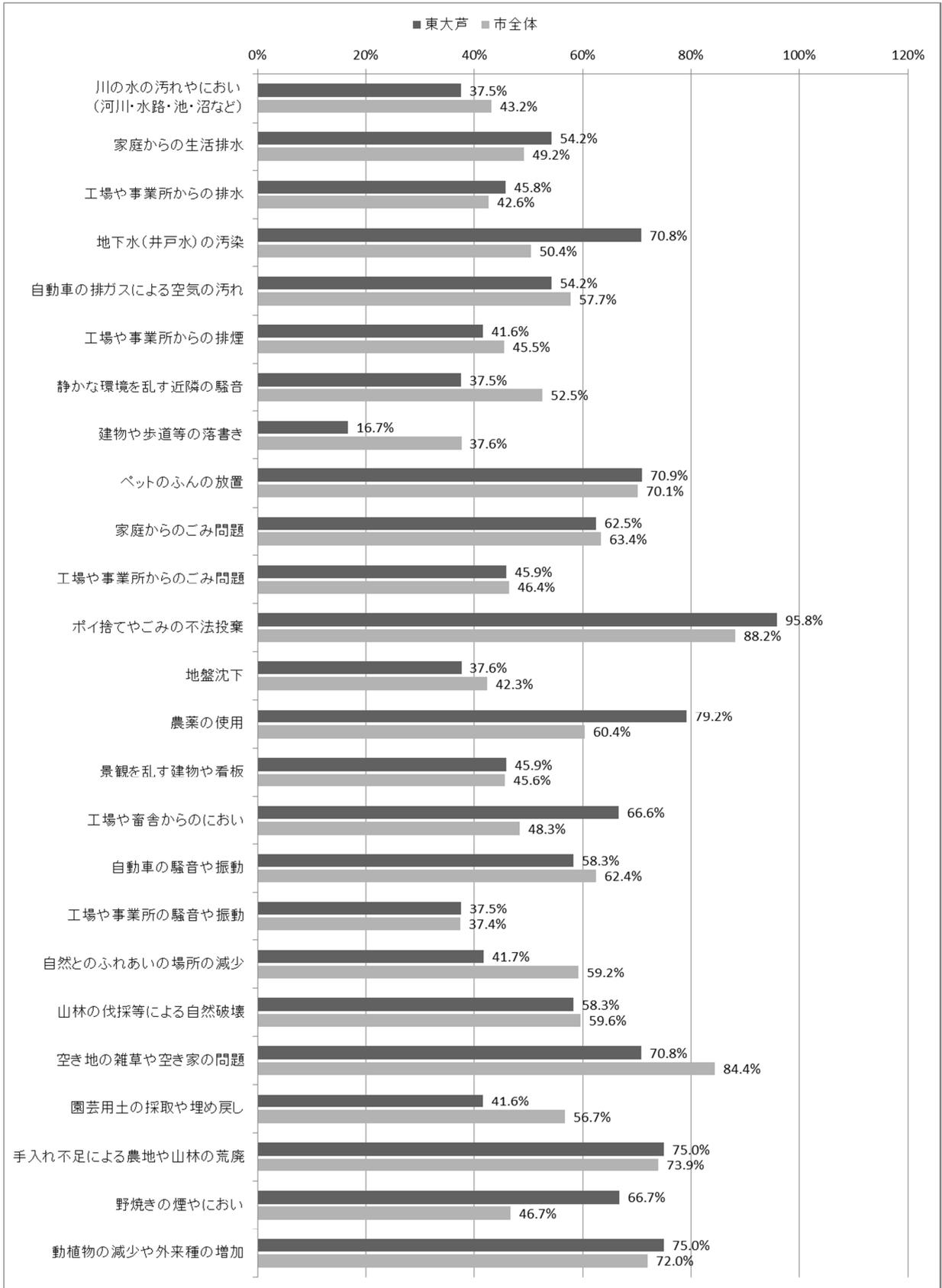
河川の水質等・・・地域の河川は大芦川で、大腸菌群数を除く環境基準は、概ね達成されている。

水生生物調査による水質評価は、「きれいな水」である。

(2) 環境活動の状況（平成 28 年 3 月 31 日現在）

きれいなまちづくり推進員数	9 人
きれいなえっと団体	2 団体
資源ごみ回収団体数	9 団体

3 環境課題に関する関心度



4 東大芦地区の重点環境課題

不法投棄・ポイ捨ての防止
 空き地・空き家の適正管理
 有害鳥獣対策
 ごみ処理・リサイクルの推進
 水質汚濁の防止
 きれいなまちづくりへの参加

5 東大芦地区地域別行動指針と進行管理

取り組み内容（行動指針）	H27 年度 現状値	H33 年度 目標値	H38 年度 目標値
不法投棄・ポイ捨ての防止 ・地域の巡回、現状把握	年 3 回	年 2 回	年 2 回
空き地・空き家の適正管理 ・土地所有者、利用者との協力による空き地、 空き家の見回り（市への連絡）	年 1 回	年 1 回	年 1 回
有害鳥獣対策 ・行政との連携による被害の防止と安全対策 （随時行政への通報）	実施	実施	実施
ごみ処理・リサイクルの推進 ・集団回収の促進	9 団体	9 団体	9 団体
水質汚濁の防止 ・河川の清掃活動（河川パトロール）	年 1 回	年 1 回	年 1 回
きれいなまちづくりへの参加 ・環境美化の日への参加 ・地区内一斉草刈りの実施 ・花いっぱい運動の推進	年 2 回 年 1 回 実施	年 2 回 年 1 回 実施	年 2 回 年 1 回 実施

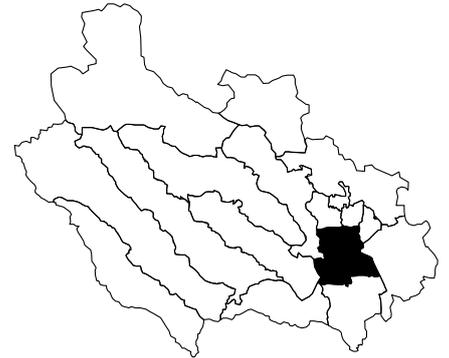
上日向長生会の花壇



北押原地区

1 北押原地区の概況

面積	1,628ha [面積比 3.3%]
人口	11,339人 [人口比 11.6%] (平成28年9月1日現在推計人口)
土地利用	すべて都市計画区域
	市街化区域 [223ha]
	市街化調整区域 [1,405ha]
	市街地の南部に位置し、黒川、小藪川、瀬戸川が 地域を潤している。
	東武鉄道縦山駅、国道293号、主要地方道鹿沼・ 足尾線、県道鹿沼環状線が交通の根幹をなしている。



2 北押原地区の環境特性

(1) 基礎調査における環境特性

総合的状況(環境的要因での概況)

自然環境は概ね良好であり、生活環境は中小河川の汚濁が伺える。

里地自然環境から平地自然環境に属し、人工改変度は比較的多いが、人工改変度が比較的小さい河川や小規模な森林を含んでいる。

自然環境

植物・・・ハルニレ、クロムジなどが確認されている。

動物・・・黒川両岸の自然度が高く、多様な昆虫類、両生類、爬虫類、哺乳類が生息している。

日光奈良部、上殿地区の両岸は、特に自然度が高い。

生活環境

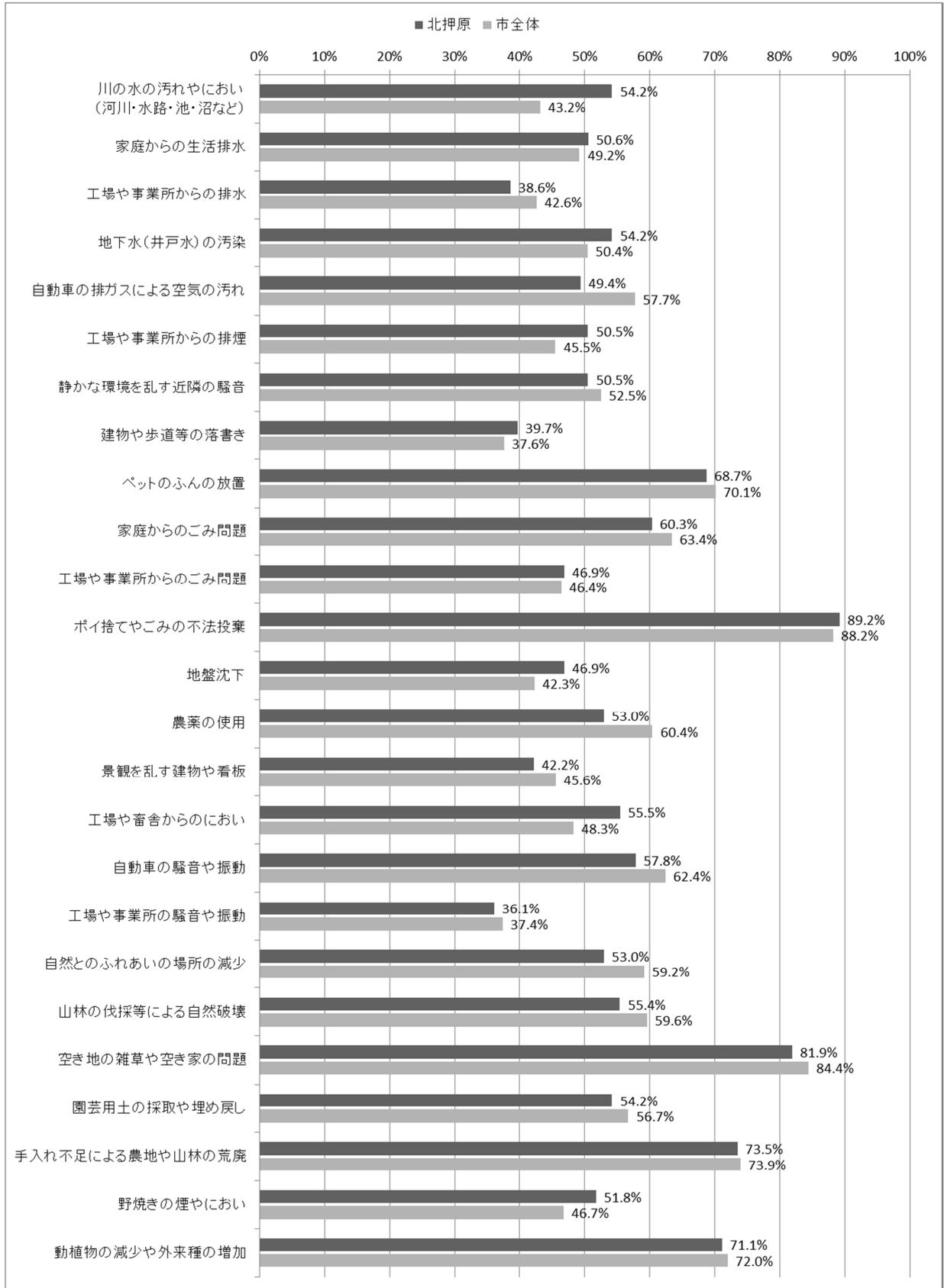
河川の水質等・・・地域の河川は黒川、小藪川で大腸菌群数を除く環境基準は、概ね達成されている。

水生生物調査による水質評価は、「きれいな水」である。

(2) 環境活動の状況(平成28年3月31日現在)

きれいなまちづくり推進員数	23人
きれいなえっと団体	1団体
資源ごみ回収団体数	17団体

3 環境課題に関する関心度



4 北押原地区の重点環境課題

不法投棄・ポイ捨ての防止
 空き地・空き家の適正管理
 河川環境の保全
 ごみ処理・リサイクルの推進
 きれいなまちづくりへの参加

5 北押原地区地域別行動指針と進行管理

取り組み内容（行動指針）	H27 年度 現状値	H33 年度 目標値	H38 年度 目標値
不法投棄・ポイ捨ての防止 ・不法投棄物の撤去、啓発看板の設置 ・ペットの適正管理（糞の適正処理）	実施 実施	実施 実施	実施 実施
空き地・空き家の適正管理 ・土地所有者、利用者との協力による空き地・ 空き家の見回り（市への連絡）	実施	実施	実施
河川環境の保全 ・黒川、小藪川、瀬戸川等の清掃の実施	年 1 回	年 1 回	年 1 回
ごみ処理・リサイクルの推進 ・ごみ分別の徹底（ごみステーションパトロール） ・資源の有効活用（集団回収の促進） ・マイバックの普及・啓発	実施 17 団体 未実施	実施 17 団体 実施	実施 17 団体 実施
きれいなまちづくりへの参加 ・きれいなまちづくりの地域での啓発 ・道路や各自治会の拠点施設等の清掃の実施 ・花いっぱい運動の推進	年 3 回 実施 未実施	年 3 回 実施 実施	年 3 回 実施 実施

きれいなと団体による
 クリーン鹿沼



板荷地区

1 板荷地区の概況

面積 2,853ha [面積比 5.8%]
人口 1,791人 [人口比 1.8%]
(平成28年9月1日現在推計人口)
土地利用 すべて都市計画区域外
市の北部に位置し、日光市に接する。
黒川が地域を潤し、東武日光線板荷駅、県道板荷・玉田線、主要地方道宇都宮・今市線、県道小来川・文挾・石那田線が交通の根幹をなしている。



2 板荷地区の環境特性

(1) 基礎調査における環境特性

総合的状況(環境的要因での概況)

自然環境・生活環境は概ね良好である。

山地自然環境から里地自然環境に属し、人工改変度は比較的少ない自然に恵まれた地域である。

自然環境

植物・・・オオヤマカタバミ、クロヒナスゲ、キンセイランなどが確認されている。

動物・・・小型、中型からニホンザル、ニホンジカ、イノシシのような大型哺乳類が確認されている。

昆虫類も多様であり、多くの絶滅危惧種が生息している。

生活環境

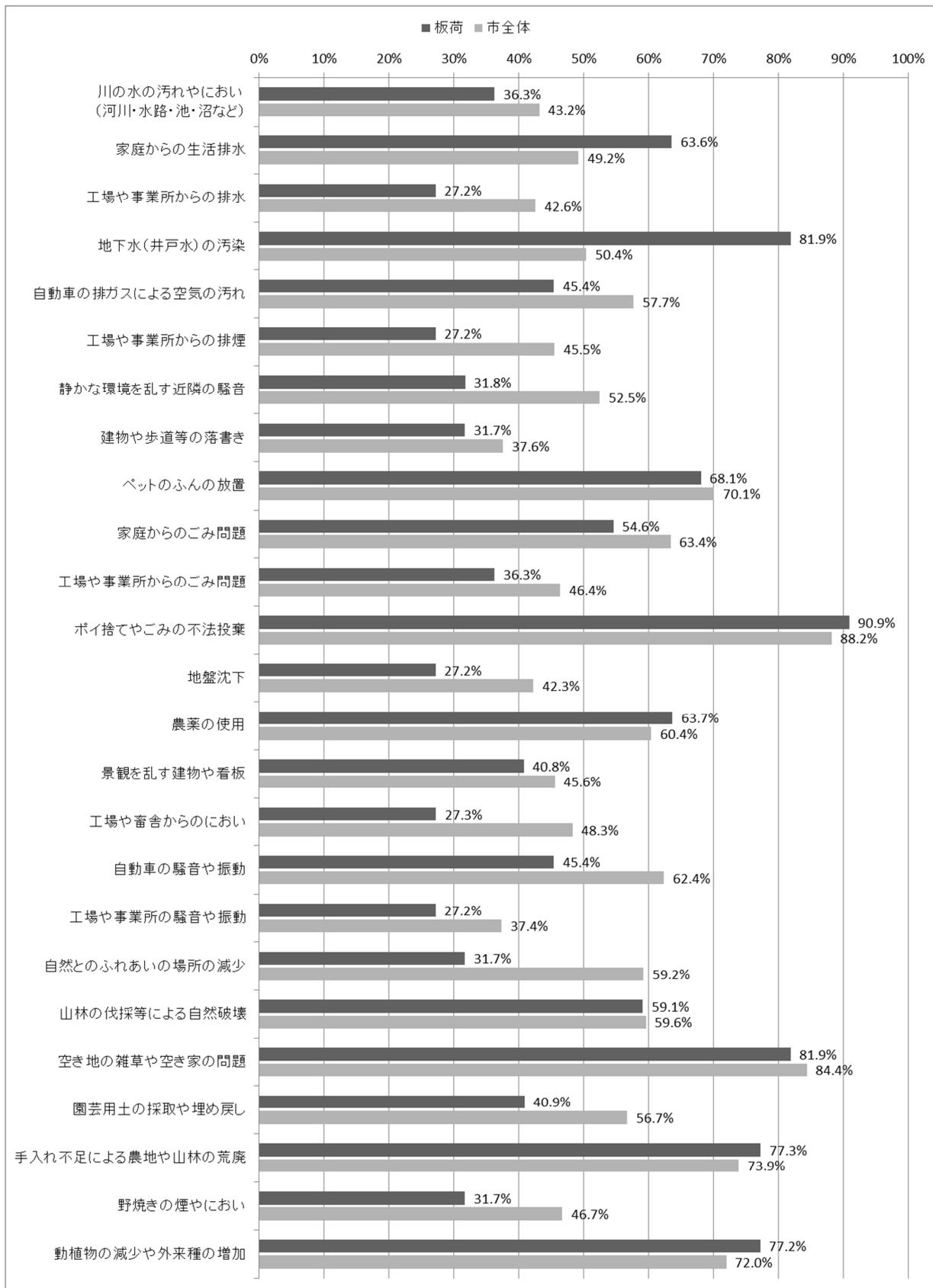
河川の水質・・・地域の河川は黒川で、大腸菌群数を除く環境基準は、概ね達成されている。

水生生物による評価は、「きれいな水」である。

(2) 環境活動の状況(平成28年3月31日現在)

きれいなまちづくり推進員数	9人
きれいなえっと団体	1団体
資源ごみ回収団体数	1団体

3 環境課題に関する関心度



4 板荷地区の重点環境課題

不法投棄・ポイ捨ての防止
 水質汚濁の防止
 きれいなまちづくりへの参加
 有害鳥獣対策
 森林の保全

5 板荷地区地域別行動指針と進行管理

取り組み内容（行動指針）	H27 年度 現状値	H33 年度 目標値	H38 年度 目標値
不法投棄、ポイ捨ての防止 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の啓発活動の推進 ・クリーン鹿沼の実施 ・防犯パトロールの実施 	年 2 回 年 0 回 月 1 回	年 1 回 年 1 回 月 1 回	年 1 回 年 1 回 月 1 回
水質汚濁の防止 <ul style="list-style-type: none"> ・排水対策（生活、事業系排水の環境負荷の低減） ・河川の清掃活動（黒川、久保田掘、大鹿島堀、吉良掘、長畑川） 	年 1 回 年 2 回	年 1 回 年 1 回	年 1 回 年 1 回
きれいなまちづくりへの参加 <ul style="list-style-type: none"> ・きれいなまちづくりの地域での啓発 ・地域の清掃活動の実施 ・花いっぱい運動の推進 ・空き地の雑草管理の啓発 	年 2 回 年 3 回 未実施 年 1 回	年 2 回 年 3 回 実施 年 1 回	年 2 回 年 3 回 実施 年 1 回
有害鳥獣対策 <ul style="list-style-type: none"> ・行政との連携による被害の防止と安全対策 	年 1 回	年 1 回	年 1 回
森林の保全 <ul style="list-style-type: none"> ・土地所有者の協力 ・森林ボランティア活動の推進 ・広葉樹への転換促進 ・間伐の促進と森林の適正管理 	年 1 回 3 団体 1 箇所 11 箇所	年 1 回 3 団体 1 箇所 11 箇所	年 1 回 3 団体 2 箇所 13 箇所

ふるさとづくり下板荷の花壇



西大芦地区

1 西大芦地区の概況

面積 7,903ha[面積比 16.1%]
人口 818人[人口比 0.8%]
(平成28年9月1日現在推計人口)
土地利用 すべて都市計画区域外
市の北西部に位置し、日光市に接する。
大芦川が地域を潤し、主要地方道鹿沼・日光線、
主要地方道草久・足尾線が交通の根幹をなしている。



2 西大芦地区の環境特性

(1) 基礎調査における環境特性

総合的状況(環境的要因での概況)

自然環境・生活環境は概ね良好である。

山地自然環境から里地自然環境に属し、人工改変度の少ない自然に恵まれた地域である。

自然環境

植物・・・イワヒバ、サギスゲ、モウセンゴケなどが確認されている。

動物・・・大芦川水系を中心として珠玉の自然が残され、クマタカの繁殖など貴重な動植物の宝庫である。

生活環境

河川の水質等・・・地域の河川は大芦川で、大腸菌群数を除く環境基準は、概ね達成されている。

水生生物による水質評価は、「きれいな水」である。

県立公園・・・古峰ヶ原高原を含む西部地域は、前日光県立公園に指定されている。

市指定天然記念物・・・小川山の六本杉

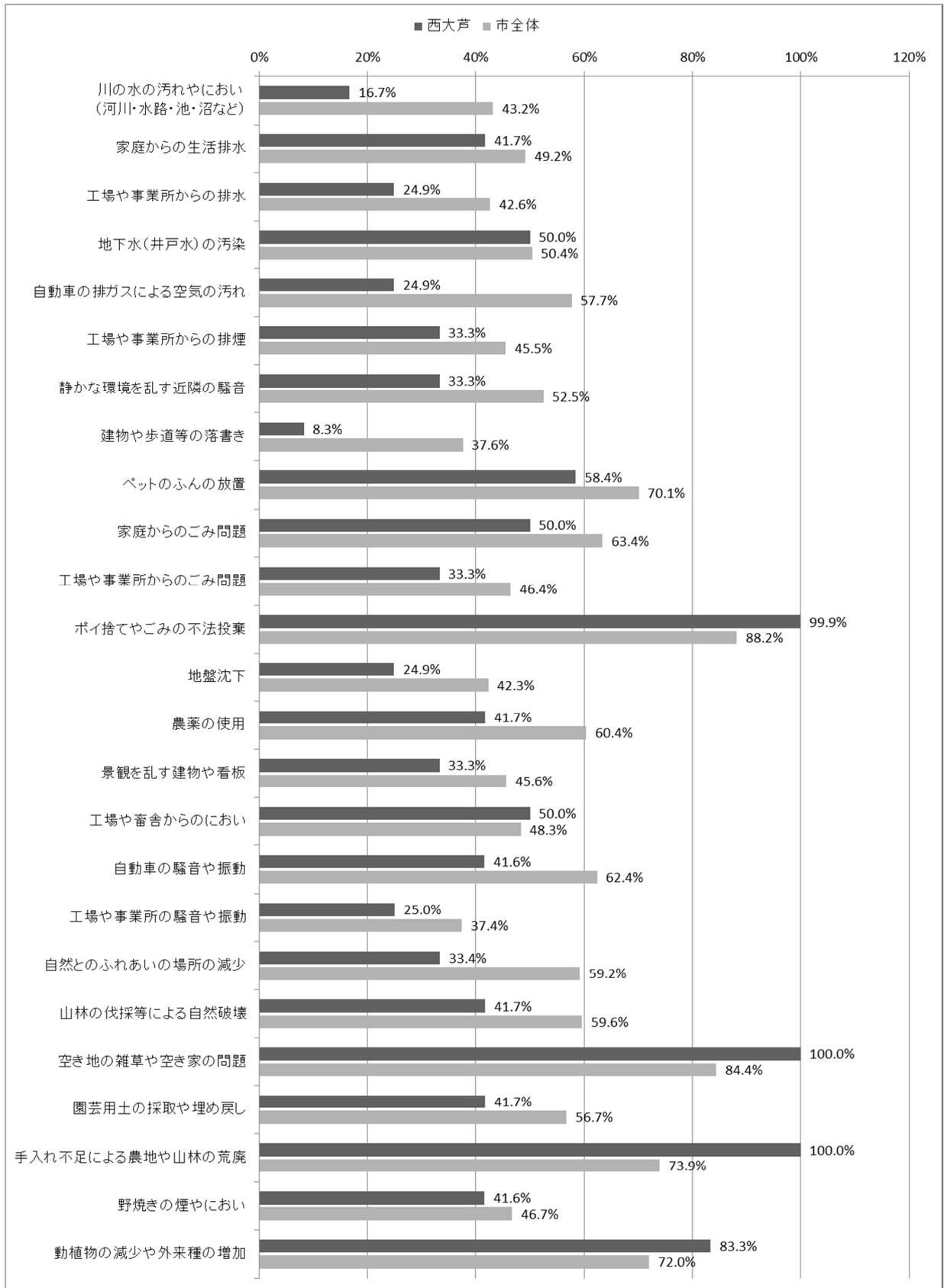
(2) 環境活動の状況(平成28年3月31日現在)

きれいなまちづくり推進員数	7人
きれいなえっと団体	なし
資源ごみ回収団体	8団体



小川山の六本杉

3 環境課題に関する関心度



4 西大芦地区の重点環境課題

不法投棄・ポイ捨ての防止
 森林の保全
 有害鳥獣対策
 空き地・空き家の適正管理
 ごみ処理・リサイクルの推進
 きれいなまちづくりへの参加
 水質の保全

5 西大芦地区地域別行動指針と進行管理

取り組み内容（行動指針）	H27 年度 現状値	H33 年度 目標値	H38 年度 目標値
不法投棄、ポイ捨ての防止 ・地域の巡回	年 2 回	年 2 回	年 2 回
森林の保全 ・地域の巡回による不法投棄の防止	年 2 回	年 2 回	年 2 回
有害鳥獣対策 ・行政との連携による被害の防止と安全対策	実施	実施	実施
空き地・空き家の適正管理 ・土地所有者、利用者との協力による空き家の の見回り（市への連絡）	実施	実施	実施
ごみ処理、リサイクルの推進 ・ごみ分別の徹底 ・集団回収の促進	実施 8 団体	実施 8 団体	実施 8 団体
きれいなまちづくりへの参加 ・地域の清掃活動の実施 ・花いっぱい運動の推進 ・道路脇の景観美化（地域活性化地区別行動）	年 2 回 未実施 年 3 回	年 2 回 実施 年 3 回	年 2 回 実施 年 3 回
水質の保全 ・河川清掃	年 1 回	年 1 回	年 1 回